

西条弁 最高! 再考 PART1

「さるかに合戦」を、西条弁で語ってみると…

あんの一えー、昔のことじゃけどの一、飯食うてないサルがおったんじゃけど、たまたま柿の種をひろたんよ。

【飯食うてない】お腹を空かせた

柿の種持って歩きよったら、おにぎり持ったカニとおーての、こすいサルはおにぎり欲しなって、カニにゆうたんよ。

【おーて】会って 【ゆうたんよ】言いました

「このタネ撒かんかい。ほしたら、柿なるけん。

よーけ柿食べた方が得なかろ?

ほやけん、おにぎりと換えんでー?」

【ほしたら】そしたら 【ほやけん】だから 【換えんでー?】換えてくれないかい?

カニは

「ほおでえ、かまんよ。サルさんはやさしいねえ」

【ほおでえ】そうですね 【かまんよ】いいですよ

「いーえのことよ。

ほんなら柿のタネ、おにぎりと換えてあげよわい」

【ほんなら】それじゃあ 【あげよわい】(換えて)あげるね

サルはそこで、鼻のす膨らませもて、

しゃんしゃんおにぎり食べたけんど、

カニは柿のタネ、家へ持って帰ったんよ。

【鼻のす膨らませもて】 鼻の穴を大きくしながら →興奮しながら

【しゃんしゃん】しっかりと、ちゃっかりと

ほんでの一え、カニは家でタネ埋めての一、大事に育てよつたらしいんじゃー。柿の木いはそーと一大きなつたしの一、ほんでも実いもよーけできたんよ。

【ほんでの一え】それから 【ほんでも】そうして 【よーけ】たくさん

ほやけど、カニは木いに登れんけん、

「どなんしょーかあ?」と悩みよつたら

サルが来たんよ。

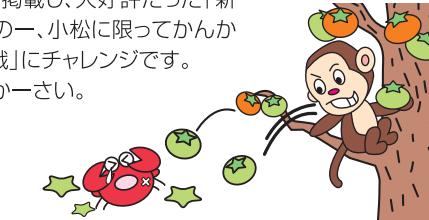
【どなんしょーかあ?】 どうしようかな?

「柿もうできたんけや? ほんなら取つたげらや」

セリフ = 「柿(の実)、もうできたんだね? それじゃあ取つてあげるよ」

ほなん言よつたサルが木いに登ると、赤なつた柿を自分で食べよるんよ。【ほなん】そんなことを

西条のみなさん、おはようございました。過去3回掲載し、大好評だった「新居浜弁再考」に続く企画、「西条ねーねー、氷見の一ー、小松に限つてかんかんかん」と言う訳で、今回は西条弁再考「さるかに合戦」にチャレンジです。新居浜の人もたいがい解る思うけん。読んでみてつかーさい。



カニが「お前なにしょんでやー、こすいの一!!

柿はわしのじゃろげあ、勝手に食うなやあ!!」

セリフ = 「君はなんてことをするんだ、するい奴だ!!

柿は僕のものだろ!! 勝手に食べるんじゃない!!」

「じゃかんしい!! お前はこれでも食うとかんけや!!」

セリフ = 「うるさい!! お前はこれでも食べている!!」

おらびあげたサルは、まだ熟れてない青い実いをもいで、カニに投げつけたんよ。

【もいで】(柿の実を)木から取つて

実いが当たつて、カニの体は血いがじゅじゅんどのに、サルはカニに、まだきざかいしよるんよ。カニはしんぼうたまらんようなって、逃げたんよ。

【しんぼうたまらんようなって】我慢ができなくなつて

「しょーたれじゃのお」サルは逃げたカニ見て、柿をたらふく食べたんよ。うまいことやったわや。

カニの家にお見舞いにきた、臼(うす)とハチとクリは

「どーならい… こなんなつてしまつて…」

【こなんなつてしまつて】こんな(体になつてしまつて…

と、カニに同情したけど、へらこいサルには、

「どーにならんの一!!」と、よいよー怒つたんよ。

【よいよー】とても

「わいらで、いわしあげたらんかー!!」

【わいら】わしら = 僕たち

臼(うす)とハチとクリは、みんなでサルをくらしたろおもて、さっそくサルの家に行って、隠れてサルが帰つてくるのをじいーつと待ちよつたんよ。

【くらしたろおもて】 やつけてやろうと思って くらす = 殴る → やつける

「今日はさぶかったの一」

【さぶかった】寒かつた

そう言いもて帰つてきたサルがの一、いろいろの火いつけた思たら、いろいろに隠れとつたクリが「バチーン」とはじいて、サルのおつべに体当たりしたんよ。

【そう言いもて】 そう言いながら 【おつべ】おしり

「あつっ!!」サルがあずつて水がめにおつべ突つ込んだら、こんどは水がめのねきに隠れとつたハチが、サルのおつべを「チクッ チクッ!!」

【あずつて】苦労して 【ねき】(水がめの)すぐ近くに、たもとに

「痛いげやあ!! なんしょんでや!!」

セリフ = 「痛いだろ!! なんてことをするんだ!!」

わやにされたサルは、たまらんなつて外に逃げたんよ。

【わやに】 とんでもない目に、めちゃくちゃに 【たまらん】辛抱できなくなつて

ほんなら屋根に隠れとつた臼(うす)が、

サルの上に「ドーン!!」と飛び乗つたんよ。

【ほんなら】 そしたら

臼(うす)やか、ほたくれやけん、

サルやか、しゃがれてしまつたんよ。

【~やか】臼(うす)は~ サルなんか~

「おんし、わしらの連れに何しょんぞー!!

なにあんきにしょんでやー!!」

【おんし】(サルに対して)お前 【連れ】友達の

「もうせんけん!」

カニさんにもあやまるけん!! こらえてやあ!!」

セリフ = 「もうしません! カニさんにも謝ります!! 勘弁してください !!」

サルの顔やか、いがんでしもとるし、あおじできとるし、おつべはしょー痛いし、わやじやわや。

【いがんでしもとる】(ここでは、あまりの痛さに)ひん曲がっている

【あおじできとる】あざ(内出血)ができている

こすかつたサルも、みんなにおんかれてから、

【おんかれて】怒られて

「しゃがしてしもたかい…」

と、よいよーおせらしなつて、みんなと仲よーなつたけん。

だらかろお?

【おしまい】

【本文内 赤文字 の解説】

あんの一えー	「あのね、～」を意味する、西条人なら誰もが口にする言葉。話のはじめに多用。短く「あんの一」と、使う場合も多々アリ。祭り時に唄う「ノーエ節」が語源?※のーえーの活用例「そんでのーえー」「ほんでのーえー」「ほじやけんどのーえー」
こすい	「悪賢い」「ずるい」「けち」といった意味の形容詞。実は関東から九州まで幅広く使われている。
いーえのことよ	「どういたしまして」と同意の「お礼の言葉」。短く「いーえの」と使う場合もあり。「いえいえ、どういたしまして」から来ている?
おらびあげた	おらぶ=大声を出す、叫ぶ。「おらびあげた」は「おらびあげる」の過去形。「おらぶ」は、特定の対象がない場合か、不特定多数の大勢に向かって。「おらびあげる」は、1人から、複数の相手がいる場合に。
じゅじゅんどんのに	じゅじゅむ=(血が)にじむ。じゅじゅんどんのに=(血が)にじんでいるのに。ちなみに「血」は「血い」、「木」は「木い」、「実」は「実い」と、イ段の一文字名詞は、母音である「イ」を語尾に続ける場合があり。
きざかい	人の気に障るような行動。嫌がらせ。「そなんきざかいせられん」='そんな嫌がらせはもうやめなさい' 古語の「気遊び」から?
しょーたれじやのお	しょーたれ = だらしない様子「しょーたれじやのお」= だらしない奴だな。おしつこを漏らした様子の「小便垂れ」が語源とか…。
うまいことやったわや	苦労せず結果が出た場合や、たまたまラッキーの人に向かって言う言葉。サルのように、非合法に結果を出した場合にも。使用例「外野席座つったら、○○選手のホームランボール取れたんよ」「お前、うまいことやったねやー」
どーならない	どうしようもない、どうにもならないの意味。「あーあ」と、呆れや諦めを含んだようなニュアンスでも使用。
へらこい	するい、悪賢い。「こすい」とも同意味。また、信用できない人物に使う場合も。使用例「へらこい奴じやのー」
どーにならんのー	「どーならない」が「呆れ」と「哀れみ」を含むのに対して、「どーにならんのー」は「怒り」を含むとでも言うべきか?「シャレになってない!」と言う感じに取って頂ければ…。
いわしあげたらんかー	いわし=言わす。相手を「ギャーッと言わす」が短くなつたもの?いわしあげたる = 相手をやつづける。「いわしあげたらんかー」=「やつづけてやろうぜ!!」と、仲間に向かって。イワシの揚げ物ではない。(言うと思ったでしょ?)
ほたくれ	とっても(大きい・重い・広い)の意味。最大級を示す場合に。
しゃがれて	しゃがれる = (車に)ひかれる。つぶされる。しゃがれて=(白に)つぶされて。使用例「そなに道の真ん中歩きよつたら、車にしゃがれても知らんよ」
あんきにしよんでやー	あんきに = 気にせず、のんきに、のうのうと。～しよんでやー = しているんだ?ここでは、サルがカニに、大けがを追させたのにも関わらず、「何も気にせずに、のうのうとしている場合じゃないだろう!!」
しょー	とっても、大変の意味。使用例に「しょーすごい」「しょーおもろい」「しょーくだらん」など。
わやじゃわや	わや = どうにもならない様子。大変な様。～じゃわや = 「～だったんだよ」と、人に説明する場合には最後に「～わや」。「わやじゃ」=「大変だ」「わやじゃわや」=大変だったんだから。
しゃがしてしもたかい	しゃが = 間違い、過ち。～しもた = ～してしまった。しゃがしてしもたかい = (自分に対し反省に意を込め)「過ちを犯してしまった…」
おせらしなって	大人のようになって、成長して。ここでは悪かったサルが反省して、みんなの仲間になったので、成長をたたえる意味で。
だらかろお?	だらい = 面白いの意味。だらかろお? = 面白い(話)だろお?ただし、大爆笑とまでは行かず、笑いの程度はぼくそ笑む～爆笑くらいまでか?ちなみに大爆笑の時は「しょーだらい」(氷見地区限定?)

旧西条市内でも、場所によって使う言葉、使わない言葉、またニュアンス、発音等が違います。また旧周桑、東予では、旧西条市と方言が全然違う場合もあります。今回は編集部G(西条市在住)と、編集部T(西条市出身)が、西条市在住の複数の方のご意見も参考に「さるかに合戦」で考察してみました。

ひとくくりに「西条弁」とするのは、大変おこがましいのですが、ご了承ください。
ご意見・ご感想を、編集部までお寄せください。 メール post@hoo-ja.com